

八千代市 1%支援制度対象事業

劇団員の火

さるカニ合戦【報告】

併演：しちひきのこやぎ

劇団員の火による「さるカニ合戦」、会場は、よちよち歩きの赤ちゃんから幼児、小学生低学年、それにお父さんお母さんでいっぱいでした。

まずは「しちひきのこやぎ」。お母さんやぎが「気をつけてお留守番するのよ」と行ってしまうと、くるりとひっくり返りおおかみ登場。子やぎ達がおおかみに食べられて、ハラハラドキドキしたけれど、お母さんに助けられ一安心。人形の作りが斬新でした。

次は「さるカニ合戦」。みんなで悪いさを懲らしめる場面では、手拍子で応援して盛り上がりました。「もう悪さはしません」と逃げていったさる、どこか憎めない面もありました。

最後の交流会ではカニさん、さるさんと握手。さるをぎゅゅと抱きしめる子がいたり、さるの動かし方に興味津々の小学生がいたり、子どもたちの心に何かを残してくれた作品でした。演者が2人と聞いて、びっくりされたお母さんもいました。やっぱり人形劇はおもしろい！ 鑑賞部 千葉範子



さるさん、握手しよう！



大挨拶団。お当番も楽しみの1つです。

6月26日(日) 八千代市総合生涯学習プラザにて 参加者: 211人

～ アンケートより ～

- ・さるとかにかにおにぎりとかきのたねをこうかんするのがたのしかったです。(年中)
- ・いままで見た(本で読んだ)さるかに合せんよりずっとずっとおもしろかったです。(4年)

- ・かにかがかわいかった(年少)
- ・かにたちとさるのたたかいがおもしろかった(1年)
- ・七匹の子やぎの人形にびっくりしました。どちらの劇もいろいろな仕掛けがあって、楽しかったです。(大人)

民族歌舞団荒馬座

八千代市 1%支援制度対象事業

ぴーひゃらどん【報告】

7月11日(月) 八千代台文化センターにて 参加者: 45組



音がするの♪
見せて、見せて！

八千代市1%支援制度事業「アートスタート2011」の第2弾として、『ぴーひゃらどん』が実施されました。八千代市でも何度か公演実績のある荒馬座さんによる、0～3歳のお子さんとお母さんが一緒に楽しめる作品だということで、大勢の方々が参加してくださいました。会場となった八千代台文化センターには、小さなお客様たちが次々に到着。お母さんと手をつないで歩いてくるお子さん、お母さんに抱っこされてくるお子さん、ベビーカーに乗ってくるお子さんなど、みんな初めて来る場所にちょっと緊張気味の様子でしたが、カラフルな沖縄の民族衣装を着た3人のパフォーマンスに合わせて、身体をゆすったり、ぴよんぴよん飛び跳ねたり、親子でスキンシップをとったり、みんなで会場を練り歩いたりしました。テーマは日本の四季ということで、季節ごとに、ふと耳を澄ますと聞こえてくる音(例えば、鳥の声、雨の音、波の音、虫の鳴き声、風の音など)を効果的に取り入れて、日本の美しい風景や故郷を一人ひとりがイメージできるような素敵な作品でした。唄や踊りやお囃子など、一足早い夏祭り気分も味わうことができました。 高田悦子



- ～ ママ達の声 アンケートより～
- ・音楽に合わせて体を動かす時もあり、ぴーひゃらどんと歌ってました。楽器の体験も楽しそうでした。(2歳6カ月)
 - ・じーっと、音の出る先に見入っていました。とてもきょうみ深かった様子で、大人の私でも一緒にたのしめる内容で親子で楽しめました。(1歳9カ月)

お待ちかね。終演後の交流タイム♪